

付章 長久寺山門について

東北工業大学建築学部准教授 中村 琢巳

概要

長久寺の南東に位置する山門である。寺伝では宝永4年(1707) 棚倉藩五代藩主太田備中守資晴が当寺の開創に際して、棚倉城二之丸南門を現在地へ移築して寄進されたと伝わり棚倉城に関わる唯一の遺構と目されている。門内に現存する仁王尊は明治時代に移設されたものである。

構造形式

構造形式としては本柱4本と控柱4本で規模を大きくした薬医門である。現状は切妻造り鉄板葺きであるが、昭和30年頃に旧来の茅葺きから改築したものである。セガイ部分の天井板や棹縁などの風化はさほどなく、昭和期の屋根替えに合わせて挿入された部材だと考えられる。

中央の柱間の間は芯々で10尺3寸、右脇の柱間は4尺3寸、左脇は3尺8寸となり、左手の脇間が縮んだ構成である。主柱の上部に架けられた冠木の下端を見ると右脇と同じ4尺強の位置に、仕口痕跡を残すこと、また仁王尊の形状にこの柱間が調和することから明治時代の仁王尊の位置に合わせて左脇の柱を移設しつつ縮めたことがわかる。

履歴について

4本の主柱はケヤキで五平のかたちをとる。風化が最も進んでおり、本建物の中で最も古い建物である。4本の控柱のうち両脇の2本もまた五平で、主柱と接続する貫が切断されながらも残存し、風化具合も主柱と一致する。同じく、ケヤキの扉の風化具合も主柱、両脇の控柱に酷似する。よって本建物の主柱4本、控柱2本、扉は旧城門時代の部材と考えられる。一方で、控柱の中央2本は約6寸の角材で古い出梁(旧城門の部材と推測される)に対して後補で挿入されており、脇間を囲う柱と合わせて明治時代の部材と推察される。

前述のとおり、昭和の屋根替えで新たに天井板や棹縁が補われていると考えられる。小屋組みについては、城門の時代までたどることが出来るかは未確認であるが、茅葺き時期の小屋組みを保持する可能性はある。

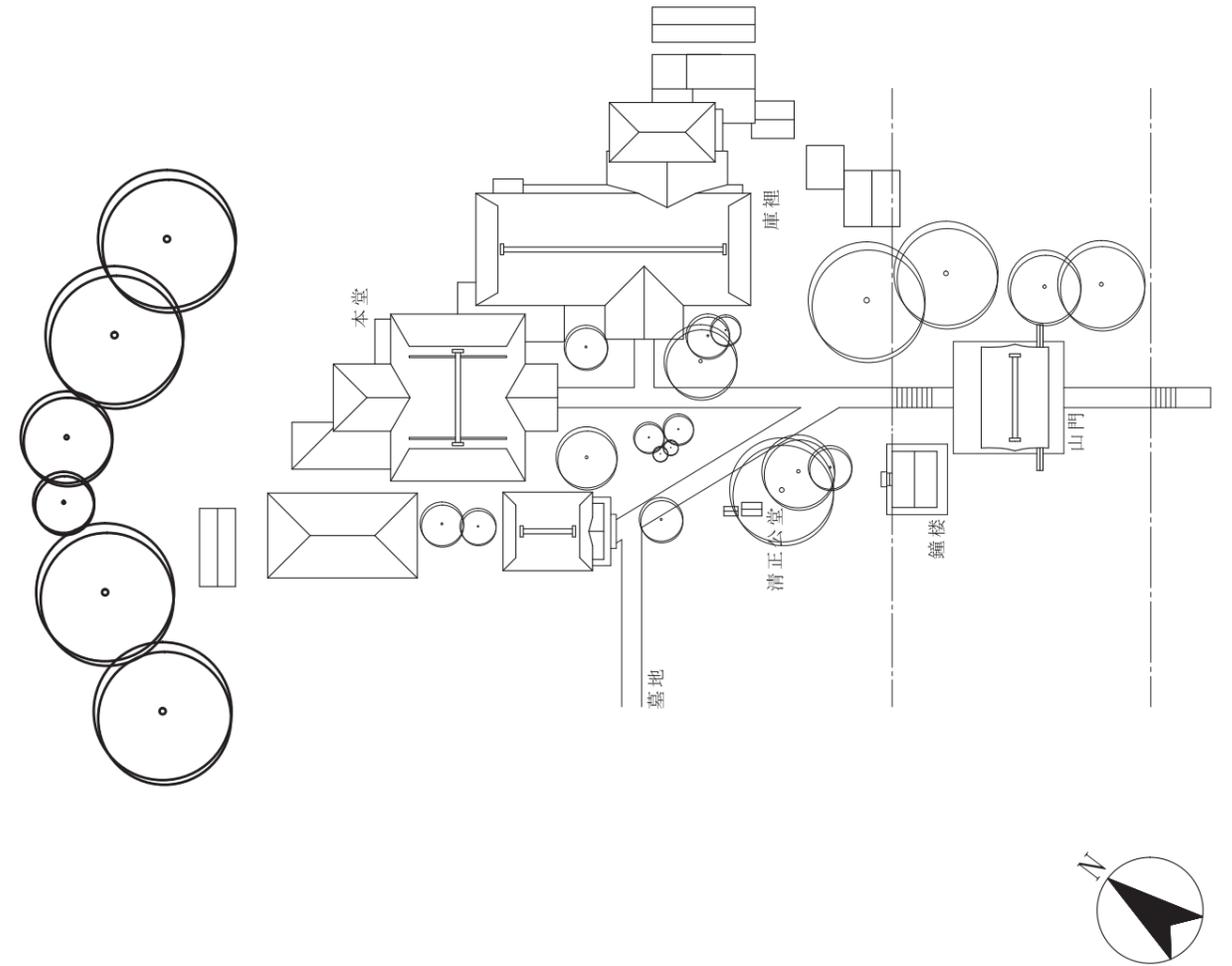
このように、当建物は少なくとも3期の部材から構成されており、仁王尊に関わる改築が明治時代と考えれば、それ以前の江戸時代に部材が現存し、風化具合からしてもそれが城門期の部材と推察される。

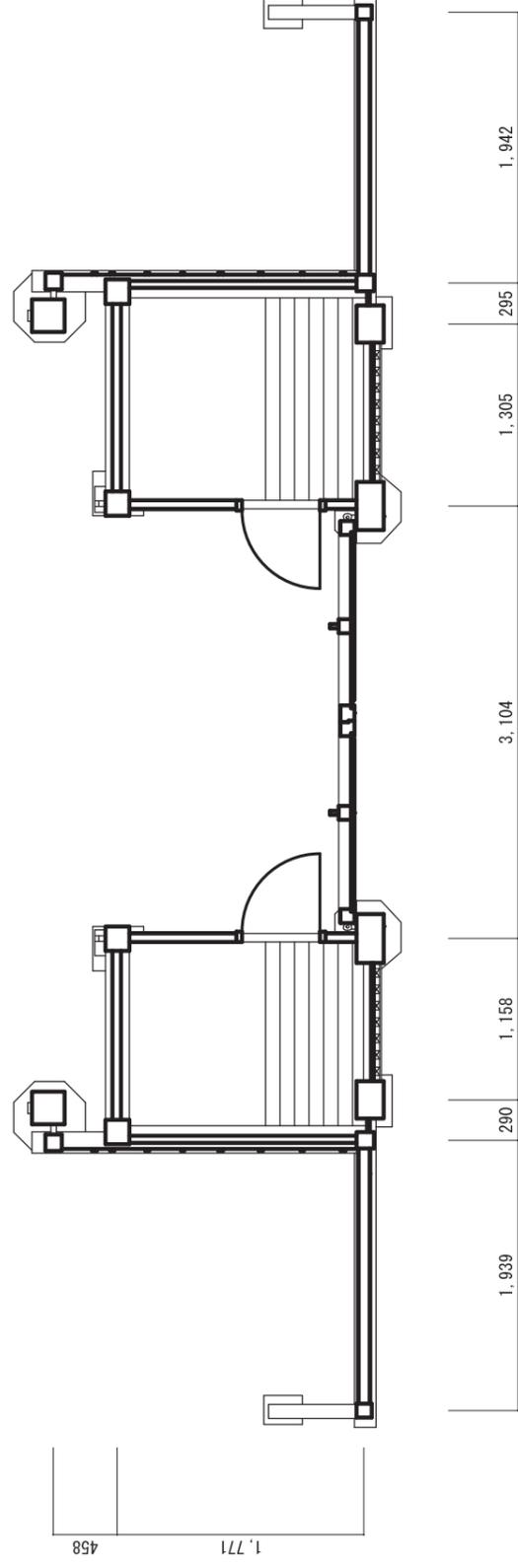
城門の時期について

明治時代の改築時に、主柱の左脇が移設されているものの冠木に旧位置の痕跡を留めていることや、4本の主柱と板扉、2本の控柱は城門の時代の部材が残存していると観察されることから、城門時代の薬医門の規模も確認することができる。また、正面右側の中央主柱の脇間側に板壁跡根が見られないことから、この位置に潜り戸があったことも考えられる。現在の鉄板葺き以前は茅葺きであったことから宝永の移築時も茅葺きの薬医門であったことも推察される。

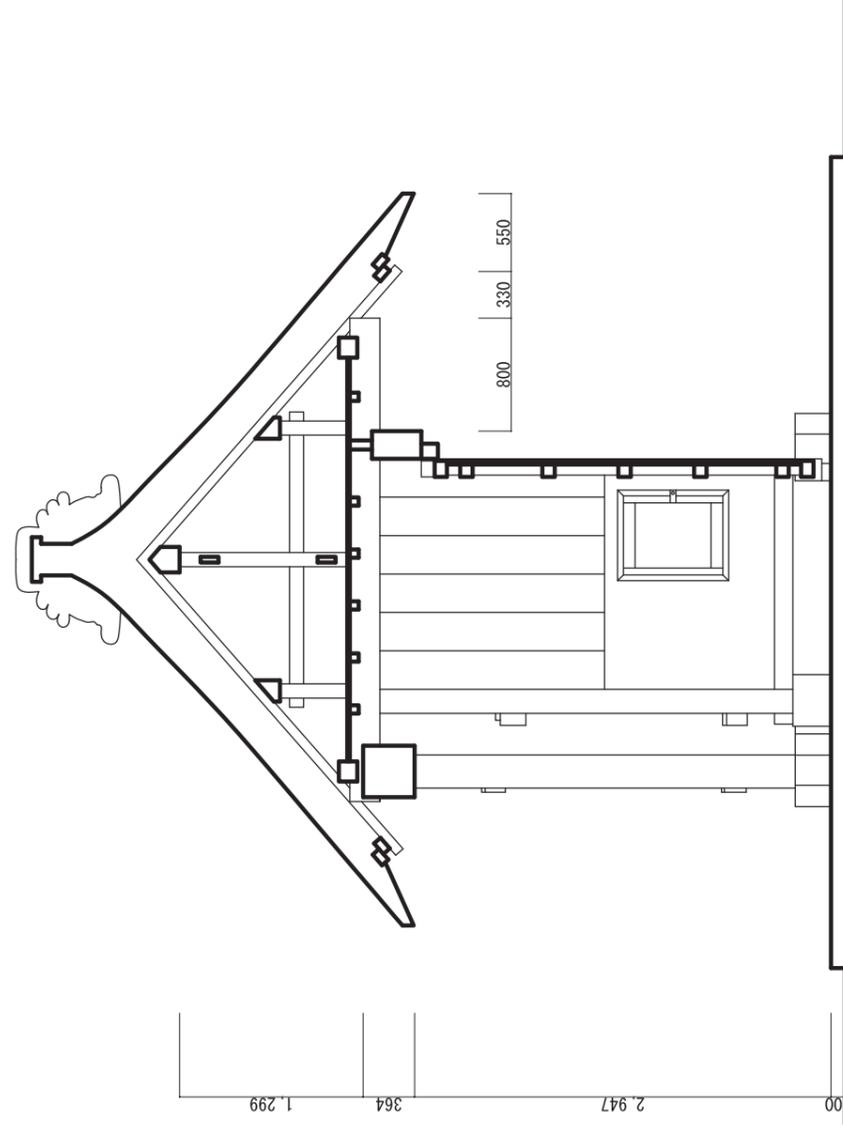
調査日：2020年2月13日

所在地：福島県東白川郡棚倉町花園沢目 176





長久寺山門 平面図 (縮尺 1/50)



長久寺山門 断面図 (縮尺 1/50)

参考資料 棚倉城跡の保存活用に関するアンケートの実施結果について

1 実施概要

令和2年に棚倉城跡の保存活用に関する調査を実施した。調査方法は個人A（一般住民）、個人B（石垣所有者、法人会員、行政区長、老人クラブ）、団体（商工会、文化団体、各種組合長、観光協会各支部長）、棚倉小学校6年生に向けアンケートを配布し回答を依頼したものである。

2 実施結果

個人A：回答期間：令和2年3月3日～3月31日

実施数200件中回答数105件 回答率52.5%

・棚倉城跡への来訪の目的は何か？（複数回答）

歴史に興味 4.5%、季節の自然 41.3%、イベント参加 34.2%、健康維持 10.3%、その他 9.7%

・棚倉城跡の魅力は何か？（複数回答）

歴史的な価値 22.3%、貴重な自然 21.9%、すばらしい景観 19.0%、町のシンボル 22.7%、使いやすい公園 9.9%、思いつかない 3.7%、その他 0.4%

個人B：回答期間：令和2年3月24日～3月31日

実施数161件中回答数94件 回答率58.3%

・棚倉城跡への来訪の目的は何か？（複数回答）

歴史に興味 6.8%、季節の自然 36.1%、イベント参加 38.1%、健康維持 10.9%、その他 8.2%

・棚倉城跡の魅力は何か？（複数回答）

歴史的な価値 21.5%、貴重な自然 17.5%、すばらしい景観 18.4%、町のシンボル 27.4%、使いやすい公園 13.0%、思いつかない 1.8%、その他 0.4%

団体：回答期間：令和2年3月3日～3月31日

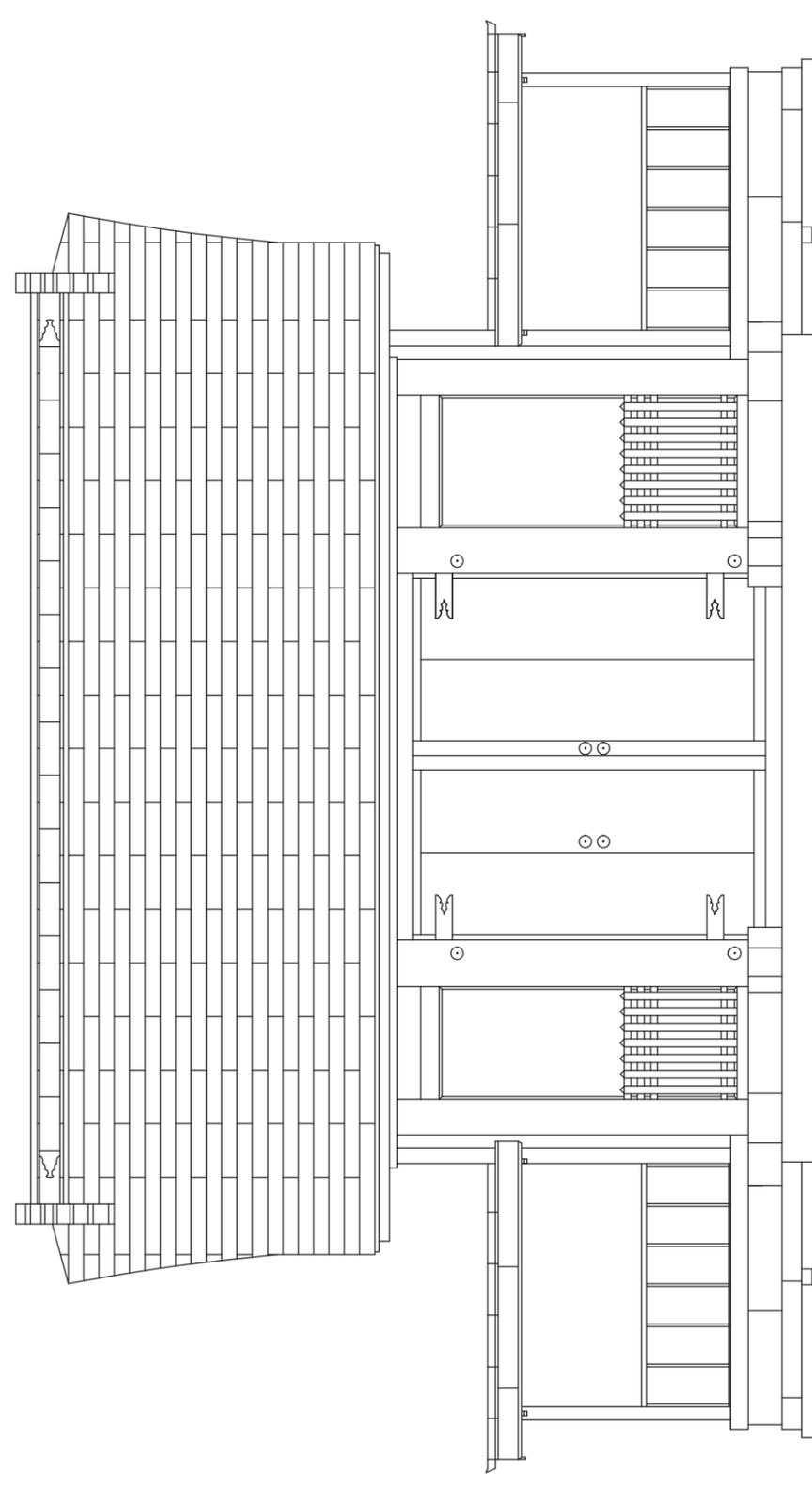
実施数90件中回答数32件 回答率35.5%

・棚倉城跡への来訪の目的は何か？（複数回答）

歴史に興味 16.9%、季節の自然 42.4%、イベントへの参加 25.4%、健康維持 11.9%、その他 3.4%

・棚倉城跡の魅力は何か？（複数回答）

歴史的な価値 25.3%、貴重な自然 19.5%、すばらしい景観 20.7%、



長久寺山門 立面図（縮尺1/50）

町のシンボル 23.0%、使いやすい公園 8.0%、思いつかない 2.3%、
その他 1.1%

- 棚倉城跡を町の財産として活かし、未来へと引き継ぐためには、どのようなことを優先していくべきだと思うか？（複数回答）

土塁補修 18.0%、自然の保護 16.4%、歴史学習 11.7%、
情報発信 13.3%、シンボルの整備 9.4%、アクセス環境 7.0%、
魅力的なイベント 10.9%、休憩施設 7.0%、現状を維持 5.5%、
その他 0.8%

学 校：回答期間：令和2年7月8日～7月31日

実施数67件中回答数64件 回答率95.5%

- 棚倉城跡への来訪の目的は何か？（複数回答）

イベントへの参加 27.5%、健康維持 20.2%、季節の自然 18.3%、
歴史に興味 5.5%、その他 28.4%（友達と遊ぶため、通学路、鯉の餌やり、祭り）

- 棚倉城跡の魅力は何か？（複数回答）

使いやすい公園 26.1%、すばらしい景観 21.8%、貴重な自然 19.7%、
町のシンボル 14.8%、歴史的な価値 12.0%、思いつかない 4.2%、
その他 1.4%

国指定史跡 棚倉城跡 保存活用計画書

令和3年3月

発行・編集 棚倉町教育委員会
〒963-6123 福島県東白川郡棚倉町大字関口字一本松58
TEL 0247-33-0111
印刷・製本 (株)タカハシ印刷
〒963-6131 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字新町85
TEL 0247-33-3784